

公共事業環境配慮書(案)

農政部 農地整備課

事業名称		
事業名	県営農村地域防災減災事業	
整理番号	27-3	
事業の種類	ため池の改修	
市町村名	塩尻市	
箇所名	塩尻市大字金井(みどり湖地区)	
事業年度	平成27年度～32年度	
事業概要		
目的	平成24年度に堤体耐震診断を行った結果、堤体上流側法面で地震時における所定の安全度が確保出来ない結果となったため、施設の耐震化を図るよう改修工事を行う。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	堤体押え盛り土工L=92m 洪水吐工改修L=176m 取水施設等改修 1式	
関連する事業計画	塩尻市農村地域防災減災推進計画	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	なし	
その他	なし	
社会的要素	留意すべき地域の概況	
交通の現況	事業区域の西側に国道153号線が位置する 下流に線路(中央本線)がある	
土地利用の現況	山地・丘陵である	
生活関連施設の現況	周辺に住居が集合している	
その他	特になし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散防止に努める。	
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	
【悪臭の防止】		
・想定される影響はない。		

水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある
	【水質汚濁の防止】	
	・上流からの流入水は仮廻しを行い、濁水の排水を避ける。	
	・沈砂池やオイルマットを設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
	【水循環の保全】	
	・上流からの流入水は仮廻しを行い、受益地への用水を確保する。	
地形・地質	留意すべき地域の概況	丘陵である 凝灰岩である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【改変面積の最小化】	
	・既存施設の補修・改修を主体とし、新たに施設を設置することは避ける。	
	・堤体の押え盛土工は、最小断面とする。	
野生動植物	留意すべき地域の概況	現時点で希少種の確認はされていない。
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・ため池落水時には、魚類等を隣接するため池へ一時移転し保全を図る。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・想定される影響はない。	
【地域独自の生物多様性の保全】		
・想定される影響はない。		
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】		
・想定される影響はない。		

景観	留意すべき地域の概況	湖沼景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
・樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。		
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	ため池へ流入する水路沿いに水芭蕉の植生地がある。 ため池ではヘラブナ釣りが行われている。
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・水芭蕉の植生地を避けて工事用道路を設ける。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
・ため池工事時には、隣接する別のため池へヘラブナを移動させて釣りが楽しめるようにする。		
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
【資源の有効利用】		
・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。		
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
【エネルギーの有効利用】		
・想定される影響はない。		
日照障害・ 電波障害・ 光害	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
【電波障害への配慮】		
・想定される影響はない		